



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



今日の生ごみが、明日の野菜を育てる！
～家にあるもので手軽にスタート！
「段ボールコンポスト」を作ってみませんか？～

【つくり方・手順】

箱の補強と設置：段ボールの底をガムテープでしっかり補強し、風通しの良い日陰に「すのこ」などを敷いて床や地面から少し浮かせて置きます。
基材を入れる：段ボールの中に基材（土のもと）を6～7分目まで入れます。

生ごみを投入する：しっかり水切りした生ごみを細かく刻んで入れ、基材とよく混ぜ合わせます。

虫よけカバーをする：虫の侵入を防ぐため、上から古着のTシャツや専用カバーをかぶせて完成です！

【長続きのヒント♪】

「水切り」と「小さく切る」がコツ！そして、毎日よく混ぜる：空気が入ることで微生物が活発になり、嫌なニオイの発生を防ぎます。

生ごみを「燃やすごみ」に出さず、土に還す小さなステップ。ぜひご家庭で楽しくチャレンジしてみてください！

【お問い合わせ先】

8 ページ～ 11 ページに関しては
肝付町役場 住民課へ
☎ 0994 (65) 8411



家庭から出せる「生ごみ削減」の身近な工夫として、生ごみを堆肥（肥料）に変える「段ボールコンポスト」が注目されています。特別な機械を買わなくても、家にある段ボールや百円ショップの材料でかんたんに作ることができます。

ごみ出しがラクになるだけでなく、おいしい家庭菜園の土づくりにもつながる「おうちでできる循環」を始めてみませんか？

【準備するもの】

段ボール箱（厚手のもの・2重にすると頑丈になります）
基材（ピートモスとカニ殻、または竹粉や腐葉土など）
Tシャツやキャップ（虫よけのカバー用）
すのこやキャップ（風通し用の台）



家庭の生ごみを減らそう！

「3 切運動」×「生ごみ処理機モニター」



可燃ごみの中で大きな割合を占めるのが「生ごみ」です。生ごみは約8割が水分と言われており、しっかりと水切りをするだけでも大きな減量効果（焼却コストの削減）につながります。

「3切（さんきり）運動」の徹底

日常生活の中で、次の3つを意識してみましょう！

- 「水切り」・・・ごみを出す前にぎゅっと水気を絞る
- 「使い切り」・・・食材を無駄なく使いきる
- 「食べきり」・・・料理を残さず美味しく食べる

電気式生ごみ処理機

モニター事業

生ごみ処理機を活用すると、家庭の生ごみ量を約80%削減することができます。

「実際にどのくらい減るの？」

「使い勝手は？」

事前に体感していただけるよう、電気式生ごみ処理機と計量器14日間短期レンタル（モニター事業）を開始します。

【効果を体感！】

まずは14日間お試しください。削減効果を実感してください。

1. 本町に住所を有し、実際に居住している個人の方（※事業用・営利目的は不可）
2. 屋内に適切な設置スペースがあり、安全に維持管理できる方

【購入補助金制度】

モニター体験後、購入をご希望の方には「家庭用生ごみ処理機器設置費補助金」で導入を後押しします！（上限3万円）



▲肝付町
ホームページ
（モニター事業）

ごみを減らして、肝付町の「未来の予算」へ！

「PASSTO へ服を入れる」「生ごみの水をしっかり切る」「処理機を試してみる」。

一人ひとりのそんな小さなアクションが集まると、町のごみ焼却コストが大きく削減されます。

そして、その減らすことができた処理費用こそが、これからの肝付町の福祉・子育て・住みよさを支える「新たな財源」へと生まれ変わります。

不要品を資源として循環させる「リユース」、ごみ自体を減らして町の財政を活性化させる「生ごみ削減」。

私たちの暮らしと町の未来を守る「2つの循環」へ、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております！



電気式生ごみ処理機 モニター申込方法

▼STEP ①
お電話または役場窓口にて、機器の空き状況をご確認のうえご予約ください。

▼STEP ②
窓口受取り
役場窓口でお受け取り。「事前アンケート」にご記入いただきます。
【持ち物】本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカード等）

▼STEP ③
14日間体験使用
生ごみ処理前後の「重量」を毎回収集シートに記録します。

▼STEP ④
機器清掃・返却
簡易清掃（原状回復）のうえご返却いただき、「事後アンケート」および「重量記録シート」をご提出ください。

株式会社 ALPACA 様より電気式生ごみ処理機「Loofen」2台を提供していただき計6台で事業を行っております。
ご協力感謝いたします。

